

上風連の子



No.8 令和元年 10月10日(木) 発行責任者 校長 太田 等

学校ブログのアドレス <http://www.aurens.or.jp/kids/>

学校は文化と道徳性の発信地

校長 太田 等

昨日は、学芸会の児童公開が行われました。どの学級も素晴らしい劇や音楽等を発表していました。今日と明日の練習により、本番は更によい発表になることが期待できます。全校合唱では、『ありがとうの花』と『ハロー・シャイニング ブルー』を披露します。この2曲は、子ども達の歌声の素晴らしいところから、歌詞の内容がとても素晴らしいです。これから時代を生きる子ども達にとっても、とても大切なものが詰まっています。下の歌詞は、『ありがとうの花』です。

「ありがとう」って いって みんなが わかってる そのかあが うれしくて なんとも 「ありがとう」 ありがとうに さこてる ありがとうの花	かせにぶかれ あしたに とんどいへ ありがとうの花が さくよ さみの まうにも 本 いつか ありがとうの花が さくよ みんなが わかってるよ	ほくろのひめは みんなと いっしょに うたうと あたかい手を つなぎ みんなで うたうと 小さかった 花のゆめ	大きくふくらんで みんなと いっしょに うたうと 「ありがとう」の花が さくよ みんなが うたうと ありがとうの花が さくよ みんなが うたうと		
--	--	---	--	---	---

「ありがとう」は、「感謝」の言葉です。感謝の言葉には相手に対する「人格の尊重」があり、清らかな人間性の発露があります。

『ありがとうの花』の歌は、「ありがとう」を「相手の心を開く言葉・相手を尊重する言葉」に、「花」を「その行為により、向上しようとする人」と読み取ることができます。

『ありがとうのはな』の意味を考えると、向上心に裏打ちされた心豊かな言葉は、人から人に、この家からあの家に、この場所からあの場所へ、この地からあの地に広がれば、やがて、全ての人が笑顔（幸福）になる。だから、多くの笑顔のために、差別や偏見、憎悪といった負の連鎖を乗り越え、全ての人を受け入れ、豊かな言葉を発していくこう、心を開いていくこう、という幸福と平和を求めようとする心が想像できます。

良い歌詞には、「道徳性」があります。「希望」「相互の尊重」「向上」が内在しています。人間性の向上を詠っているため、歌えば歌うほど、聞けば聞くほど、心は元気になり、勇気と希望が湧いてきます。

教育は、あらゆる教科、活動の中で、このような豊かで正しい言葉を子ども達が習得し、そして、生活に活かせるようにします。それにより、他者を思いやったり、善いことを率先して行動し、よりよい社会を創ろうとする心を育みます。

学校は、文化と道徳性の発信地です。子ども達が豊かな言葉によって成長していく姿が、ご家族にあっても、地域社会にあっても、世界にあっても、希望と輝く太陽となります。どんなに深い暗闇があったとしても未来に向かって力強く生きる子ども達の向上の笑顔があれば、全てが明るく変わっていきます。私たちは、その重責を担っているということを常に肝に据え、よりよい学校教育を日々模索し、推進していくかなければと決意を新たにしています。

明後日は、いよいよ学芸会です。子ども達は、これまで培ってきた力、成長した姿を精一杯表現します。その子ども達に、惜しみない拍手をどうぞ宜しくお願ひいたします。

